



今、知っておきたい



×



×



持続可能な未来に向けて、イキイキと活躍する女性



名古屋商工会議所

# 目次

はじめに	2
テーマ「生む」	3
トヨタ自動車株式会社 環境部 山戸 昌子	3
大日本印刷株式会社 包装事業部 柴田 あゆみ	5
株式会社マルワ HIME企画 鳥原 由美	7
ユニー株式会社 業務サポート本部 土井 万寿美	8
テーマ「育む」	9
株式会社ECOMACO 代表/岡学園トータルデザインアカデミー 代表 岡 正子	9
ブラザー工業株式会社 製造センター購買部 日置 ひとみ 水谷 起視子 川野 絢子 CSR&コミュニケーション部 大倉 亜子	11
株式会社デンソー 安全衛生環境部 井上 真奈美	13
花王カスタマーマーケティング株式会社 中部支社マーケティング部 二之湯 友子	14
テーマ「共生」	15
京都大学 地球環境学堂 浅利 美鈴	15
中部電力株式会社 技術開発本部 津田 その子	17
フルハシEPO株式会社 開発本部 伊藤 芽衣子	18
名古屋市環境局 環境企画部 小木原 吏香	19
株式会社ウェイトボックス 環境ソリューション事業部 小川 晶子	20
テーマ「ライフスタイル」	21
岡崎ビジネスサポートセンターOKa-Biz 高嶋 舞 /株式会社ナチュラル・コーチ 若林 かおり	21
取材を通じて得られたこと・読者へのメッセージ	23
活動の経緯	25



## はじめに

---

名古屋商工会議所環境委員会では、女性が活躍する場の一つとして環境関連の仕事に焦点をあて、平成27年7月より同分野にかかわる女性の活躍を広く紹介する機会とするとともに、業務に役立つネットワーク形成や知識向上の場とすることを目的に、環境分野における女性活躍推進WG(ワーキンググループ)を開催してまいりました。

この度、本WGの成果の一つとして、冊子「環境×女性×仕事 ～持続可能な未来に向けて、イキイキと活躍する女性～」を発行することとなりました。

本冊子では、環境分野におけるさまざまなフィールドやライフステージで活躍する女性達の仕事に取り組む姿勢やその思いなどを紹介しております。この冊子が働く女性の参考となり、活躍の一助となれば幸いです。

名古屋商工会議所環境委員会  
委員長 佐々木 孝治

製造業が多くを占める東海地方の企業が、持続的成長を遂げるための課題として、環境問題への対応と、労働者不足に対する女性活躍促進が挙げられます。一見関連のない課題のようですが、企業の環境対応の中で女性が持つ能力・視点が活かせることが多くあります。例えば環境に配慮した製品開発、サービス企画、次世代向けの環境教育、社会とのネットワーク構築、自然共生などです。

本WGにおいては、「生む」、「育む」、「共生」、「ライフスタイル」の4つのテーマに分け、テーマ別に勉強会、現場で活躍する女性へのインタビューなどを行って参りました。

多くの女性がさまざまなライフステージにおいて、イキイキと活躍する姿を本冊子で紹介することにより、企業で働く女性に共感や勇気を生むと同時に、男性の理解促進を図り、さらに女性の活躍が促進されればと思います。

環境分野における女性活躍推進WG  
リーダー 松浦 陽子



# やりたいことを「覚悟」を持って宣言し、 チャレンジし続ける

01  
guest



トヨタ自動車株式会社 環境部 企画室長  
山戸 昌子 さん

1992年 トヨタ自動車入社 技術管理部  
2000年 環境部 製品環境担当  
2011年 技術統括部 環境・燃費担当  
2014年 環境部 環境室長  
2016年より現職

ライフサイクルアセスメント(LCA)分野では社内の第一人者。自動車の生産、使用、廃棄にいたるライフサイクルアセスメント(LCA: Life Cycle Assessment)の考え方を踏まえた総合的な環境評価システム「Eco-VAS」(エコバス: Eco-Vehicle Assessment System)の立ち上げから運用まで一貫して携わった。「トヨタ環境チャレンジ 2050」についても企画段階からリーダーとして携わっている。



## 人とクルマと自然が共生する社会を目指して

トヨタは1937年の創業以来、「クルマづくりを通して社会に貢献する」、「技術と創造で変革をリードする」という想いを貫き、環境問題に対しても、経営の最重要課題の一つとして、困難な課題に真正面から「チャレンジ」してきました。世界初の量産ハイブリッド車プリウス、また燃料電池自動車MIRAIの開発はまさに前例のない挑戦でした。

しかしながら、地球環境は、今なお危機的な状況にあります。温室効果ガスによる気候変動に起因する異常気象や人口増加に伴う水不足や資源枯渇、生物多様性の劣化など、環境問題は広範囲にわたり一層深刻化しています。

地球環境が抱える課題に対し、地球環境に寄り添い続けるために、20年、30年先の世界を見据えた「新たなチャレンジ」が必要であると考えます。クルマの持つマイナス要因を限りなく「ゼロにするチャレンジ」と、ゼロを超える「プラスの世界も同時に目指すチャレンジ」として、「トヨタ環境チャレンジ2050」を掲げました。



## 「トヨタ環境チャレンジ 2050」～ゼロの世界にとどまらない“プラスの世界”を目指して～

トヨタ環境チャレンジ2050は、6つのチャレンジから成ります。チャレンジ1～3はクルマの持つマイナス要因を「ゼロにするチャレンジ」、チャレンジ4～6はゼロを超える「プラスの世界も同時に目指すチャレンジ」です。

例えば、チャレンジ1「新車CO<sub>2</sub>ゼロチャレンジ」では、私たちは「2050年までに2010年比90%低減」に挑戦します。これは「2100年

に産業革命以前からの世界の平均気温の上昇を2℃未満にするためには、CO<sub>2</sub>の排出をゼロにするだけでなく、マイナス(つまり吸収)にしなくてはならない」といった世界的な予測\*に基づいています。このチャレンジ達成のために、エンジン車の燃費向上に加え、よりCO<sub>2</sub>排出量の少ない、あるいはゼロであるハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車といった次世代車の開発を促進し、普及のさらなる加速を図ります。

エコカーは普及して初めて社会に貢献します。電気自動車や燃料電池自動車普及のためのインフラ整備についてもステークホルダーの皆様と連携して進めていきます。



詳細情報はトヨタ自動車の公式企業サイトをご参照ください。

\*IPCC第3作業部会第5次評価報告書2014

<http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge2050/>



question. 1

Q 環境分野でどのようにキャリアを築いてきたのでしょうか？

覚悟を決めてやり続けた事がキャリアにつながる

A 学生時代より環境に興味があり、当時環境取り組みが進んでいたトヨタに入社しました。入社後数年は技術管理部で排ガスの暴露評価などを担当し、1998年、環境部創設後間もなく異動し、LCAなどの製品の環境取り組みを担当、2011年技術部門に異動した際には、技術の最先端に携わる一方で社内における環境部の認知度の低さを痛感しました。環境部に再び戻り、環境取り組み2050を策定する際には、「覚悟」を持たないと周りに伝わらないという強い思いで取り組んできました。

question. 3

Q チャレンジ目標をどのように社内に浸透させたのか？

何度も足を運んで伝える、ふれずに諦めずにチャレンジする

A 「トヨタ環境チャレンジ2050」の企画段階で、「CO<sub>2</sub>ゼロ」を目標提案した際には、大きな反響・反発があり、関係者を説得するために、さまざまな手を尽くしました。CO<sub>2</sub>を削減することは、設計や生産部門に置き換えると何を指すべきかを、具体的に伝えるよう心掛けました。また何度も足を運び、トップマネジメント層に理解してもらい、トップの言葉として組織に語ってもらうと一気に浸透が進みました。海外事業体との議論においては、地域によってゼロの捉え方が違ったり、公表することによるレピュテーションリスク\*についても指摘され、グローバルにコミュニケーションを進める中で、世界共通で使えるプレゼン資料を作り込みました。何よりも大切なのは、周りを納得させるために、自分自身が、必ずやり遂げるという覚悟をもって、ふれずに諦めずにチャレンジするという心構えだと思います。

\*企業に対する否定的な評価や評判が広まることによって、企業の信用やブランド価値が低下し、損失を被る危険度。評判リスク。風評リスク。



トヨタ自動車株式会社  
住所 / 〒471-8571 愛知県豊田市トヨタ町1  
TEL/0565-28-2121  
http://www.toyota.co.jp

question. 2

Q 仕事でやりがいを感じた瞬間は？

環境への配慮の必要性を周囲も気がついた時

A 90年初から世界的に地球温暖化が問題視されるとともに、企業活動に温暖化対策を取り入れるべきと考え、車両燃費をCO<sub>2</sub>排出量に置き換える事で、設計者に興味を持ってもらうよう工夫しました。97年プリウスの発売時には、車両の全部品の素材を調べ、1年がかりでLCAを算出した結果、社内外から高い評価を頂くと同時に、効率重視の技術者が、CO<sub>2</sub>などの環境指標の重要性にも気付くきっかけとなりました。



question. 4

Q 女性活躍に向けてなにをすべきか？

男女平等で働く権利を意識することと責任を忘れないバランスが大事

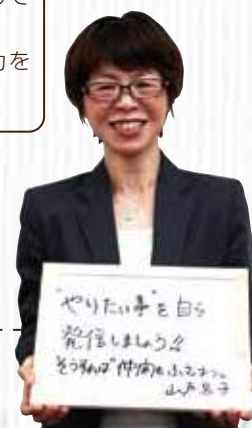
A 90年代、欧州の全自動車メーカーを訪問した際、会議には必ず女性マネージャーが出席していたことに驚きました。夫と家事・育児を完全にシェアし、女性も男性と同じように働くことが既に当たり前になっていたのです。それに比べ、日本は最近やっと変わってきたと感じています。女性が活躍するためには、企業も女性自身も、男女平等で働く権利があることを意識し、ちゅうちょせずに声に出すことが必要です。

一方で女性自身は、当然の権利にあぐらをかくのではなく、仕事への責任は忘れないといったバランスが大切ではないでしょうか。

持続可能な未来に向けて働く女性に一言

やりたいことを自分で声を出してやりましょう。  
そうすれば、たくさんの人が力を貸してくれます。

message





# 包装開発から“未来のあたりまえ”をつくる

02  
guest



## 大日本印刷株式会社 包装事業部 技術開発本部 柴田 あゆみ さん

2003年 DNP入社、包装研究所にて機能性フィルムの開発に従事  
2008年 環境包材対策室へ異動、LCAの取り組みを開始  
2009年 開発部門に異動、LCAの自動算定システム構築、バイオマスプラスチックのLCA、バイオマスプラスチック製品の開発に従事  
2016年現在 開発部門にて、LCA、環境配慮製品・サービスの開発、新形態パウチの開発に従事



## DNPにおける4つの成長領域

大日本印刷(DNP)は、「未来のあたりまえ」という価値を提供していく成長領域として、「知とコミュニケーション」「食とヘルスケア」「住まいとモビリティ」「環境とエネルギー」の4つを設定しています。自社の強みを活かして社会課題を解決し企業価値の拡大と社会貢献ができる「4つの成長領域」を軸に事業を拡げていくDNPは、生活者の誰もがその存在を欠かせないものと感じる「あたりまえ」の価値をつくり続けることによって、企業として成長し、社会に貢献していきます。今回の勉強会では4つの柱のひとつ、「環境とエネルギー」の領域における「LCA」\*についてお話しします。

\*LCA(ライフサイクルアセスメント): 製品が生まれてから捨てられるまで、ライフサイクル全体の環境への影響を評価する手法。



## LCAは事業者と生活者をつなぐ有効なコミュニケーション手段

DNPは1995年包装総合開発センターにてLCAの取り組みを開始し、1996年には東京パック96で取り組みを発表。生活・産業部門を中心に他事業部へも展開していきました。今では、さまざまな環境配慮製品について算定を行い、得意先への提案、得意先の依頼による効果検証、製品開発の指標、ホームページや展示会などでの効果のアピール、CFP(カーボンフットプリント)やその他表示に使用しています。

環境配慮製品の算定について2つ例を挙げてお話しします。

1つ目は「DNP透明蒸着フィルム IB-FILM」についてです。これはフィルムに特殊な加工を施し、バリア性を付与した包装材です。透明性を保ちながら酸素や水蒸気から内容物を守り、食品や飲料、医薬品などの品質を維持することができます。また、電子レンジ対応により生活者の利便性向上に寄与するとともに、脱アルミ化、薄層化により環境配慮にも貢献しています。包材によるCO<sub>2</sub>削減効果は約20%、調理段階のCO<sub>2</sub>削減効果は約80%にもなることが明らかとなりました。

2つ目は「DNP植物由来包材 バイオマテック®」についてです。2012年にはバイオマテックPET(ポリエチレンテレフタレート)を世界に先駆けて開発、上市しました。バイオマテックは石油の代わりにサトウキビから砂糖を精製した際の副産物(廃糖蜜)やとうもろこしなど植物由来の原料を一部に使用することで、石油の使用量を削減しています。また、植物は生育する過程でCO<sub>2</sub>を空気中から取り込んでいるため、石油由来のプラスチックフィルムと比較すると温室効果ガスを製品のライフサイクル全体で削減できます。

バイオマテックPETについては東京都市大学、岩谷産業、DNPの共同研究としてLCA算定を実施しました。実際に私は原産地へ出向き、原産国データを入手しました。結果、バイオマテックによる1年間の温室効果ガス排出量約2,260 t\*の削減につながることを明確にしました。この数字は特別大きくはないかもしれませんが、「ちりも積もれば山となる」という言葉があるように、一人ひとりが意識していくことで環境・社会を変えられると思っています。



\*「石油由来PET製品」と「バイオマテックPET製品」について、原料の調達から廃棄までのCO<sub>2</sub>削減量を比較。2013年度DNP調べ(2013年4月~2014年3月)。

## 資源循環システム利用リサイクル包材の開発

紙器系の工場からは、余白部分や余剰部分などの紙が排出され、衛生製品などにリサイクルされています。「資源循環システム利用コースター」は、DNPが排出したものをDNPの自社製品としてよみがえらせ、さらにデザインなどを付与することでより価値の高い製品を作り出すという仕組みから生まれました。FSCリサイクル認証のコースターとして自社内で利用しています。特徴としては自社で排出したものを自社で使用する循環型のリサイクルができること、トレーサビリティの確保ができること、森林認証マーク付与などより付加価値の高いリサイクルができることです。まず第一弾としてコースターを作りましたが、今後、他アイテムへの展開や革新的な製品・サービスの開発にも努めてまいります。



### question. 1

Q どのような職場環境で働いていますか？

#### 周囲のフォロー体制、制度も充実

A 私が所属している開発部門では、女性活躍推進が進んでいると感じます。

私が所属している部でも、出産して育児をしながら働いている方が増えてきており、より働きやすい職場作りが進んでいると感じています。実際に私も産休、育休制度を利用し、現在は時短勤務で働いています。

会社の制度としても、先輩社員が悩みを抱える後輩社員にアドバイスし、自ら問題解決できるようサポートする「メンター制度」が活用されており、より相談しやすい風土作りがなされています。

### question. 3

Q 今後特に力を入れていきたいことは何でしょうか？

#### 包装から社会に貢献する

A 今後、まず力を入れたいのは、環境配慮製品の普及です。

今地球が直面している環境課題を解決していくためには、生活者一人ひとりが環境に配慮した選択をしていかななくてはなりません。

私は、包装から環境配慮製品を広げ、生活者が自然と環境に配慮した行動ができるようにしていくのが使命だと感じています。

そのためには、業界団体や国とともに、普及の仕組みを考え、10年後、20年後の容器包装を取り巻くリサイクル事情などを想定した開発が必要です。

環境に配慮した新しい包材を生み出し、持続可能な社会に貢献していきたいです。



大日本印刷株式会社

本社所在地 / 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1  
TEL/03-3266-2111(総合案内)  
<http://www.dnp.co.jp/>

### question. 2

Q 仕事において女性の感性を活かせる場面はどのような時でしょうか？

#### 生活者視点が新しいアイデアを生む

A LCAの業務は机に向かって数字を扱ったり、時には外へ出て外部の方との意見交換の場に参加したり、内容のバランスや時間管理の面からも仕事のコントロールがしやすい業務であると考えます。

女性は特に、細かな配慮に優れており、日々の生活の中でさまざまな発見をする場面が多く、一生活者としての視点が仕事に活かされることが多いと感じます。例えば、女性の手の大きさに合わせた包材の設計をしたり、場面ごとの使いやすさを考えたりと生活者の視点をパッケージ開発で活かすことができます。

### question. 4

Q 働き続けて良かったと思うことは何でしょうか？

#### 働いている母の姿を子どもに見せることができる

A 仕事を続けている中で正直、今まで何度か悩んだ時期もありました。

DNPで働き、いろいろな経験ができて、さまざまな方と交流することができて感謝しています。息子が生まれてからは、その存在が大きな原動力となっています。頑張っている姿を子どもに見せていくことで、女性が働いているのは当たり前で、家事や育児においても自分(男性)が主力なのだと考えられるように育ってほしいと思っています。

#### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言

どうにもならなくなった時、「なんとかなさ」と思ってください。不思議といろいろな事が見えてくると思います。

message





# “想い”を形に、“想い”を次世代へ

03  
guest



## 株式会社マルワ HIME企画 鳥原 由美 さん

小学校教諭の経験を経て、マルワ(旧 丸和印刷)へ入社。入社後、制作、工務、総務経理を経験。簿記2級、印刷技能士2級、MUDアドバイザー、自費出版アドバイザー、プロモーションルーターなどの資格を取得。2006年には印刷会社での経験を活かし(有)HIME企画設立。女性として、妻として、母として、そして働く女性としての目線で日々お客様と共に考え、心を込めた商品を作り続けている。



### 株式会社マルワ HIME 企画

住所/〒468-0011 愛知県名古屋市中天白区平針4-211  
TEL/052-802-4141 FAX/052-802-9355 <http://www.maruwanet.co.jp/hime>

## 誰もが輝ける職場へ

マルワでは平成13年5月ISO 9001(品質マネジメントシステム)、翌平成14年6月にはISO 14001(環境マネジメントシステム)認証を取得しました。当時、女性メンバーでプロジェクトを立ち上げ、二酸化炭素排出量の削減についてごみの分別、社内美化コンクール、節電チェックなど、女性ならではの視点で身近なことからできる事を考えました。

現在では全社員での活動として、月1回全社員会議、部署の垣根を超えた委員会(広報、交流、環境、情報、品質)活動に力を入れています。

半数の社員が女性ですが、女性だけでなく男性も育児に積極的です。チームプレーでお互いを思いやり、男女意識なく対等に話ができる環境作りをしています。

## 印刷をモノからコトへ

消費の観点は女性を中心です。何を作るにしても女性の視点は必要ですし、それなら自分もできると思いました。HIME企画では特に、お客様の「想い」から入るようにしています。最終的に何を作るかよりも、「何をしたいか」をヒアリングすることが大切です。

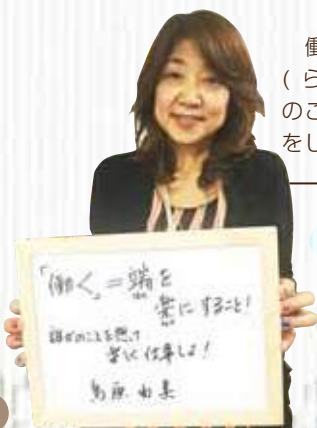
印象的な出来事としてはHIME企画立ち上げ当初、セミナーで出会った旅行代理店の方からの依頼で旅行パンフレットを作った時のことです。私たちは、できるだけお客様の商品やサービスを試すようにしています。そこで私は客船に乗り、体験から得られた感覚をもとに、キャッチコピーを考え、デザイン性を重視し制作したところ前年比200%という結果が得られました。その方とは今でも10年以上のお付き合いが続いています。



## 「人が集い社会に発信する会社」

現在、会社見学を通して、お客様に会社の全てを見て頂く(見せる・魅せる)ことに力を入れています。実際の現場である会社に来ていただき、社員の熱い思いや仕事に対する姿勢を感じ、新しい発見をしていただくことで、さらにお客様と繋がっていくと考えます。今後は、次世代に向けて人を育て、マルワイズムを浸透・継承していきたいと思えます。それには、マルワの原点に立ち戻って伝えていく必要があります。マルワアカデミーとして社会に貢献できることが、これからの願いです。今後も私たちは、発想から発送まで、お客様の想いを形にして届けていきます。

## 持続可能な未来に向けて働く女性に一言



働くとは端(はた)を楽(らく)にすること…誰かのことを想って楽しく仕事をしましょう!

message



Q 仕事でモットーとしていることはありますか?

### ①Smile&Sincerity ②WIN&WIN ③101%のサービス

A 大きく3つあります。1つ目はHIME企画の経営理念であるSmile & Sincerity(笑顔と誠意)です。これを心掛けていれば相手に必ず伝わると信じています。2つ目は、WIN&WIN。ビジネスをしていく上で双方のモチベーションを上げ、お互いが儲からなければならなりません。3つ目は101%のサービス。リピートのお仕事に対して1%でいいのでプラスアルファの提案をするということです。1.01の365乗は37.8、365日積み重ねると38倍くらいになります。

これからも現状維持は望まず、常に新しいことに挑戦していきたいと思っています。



# 「未来の子どもたちに美しい自然を残したい」をテーマにスーパーを舞台に環境学習を行っています

04  
guest

ユニー株式会社 業務サポート本部 CSR部 マネージャー  
土井 万寿美 さん

2004年に入社、ヘルスアンドビューティー部で三河地区などの4店舗勤務を経て、2011年に環境社会貢献部に配属、2013年環境社会貢献部のマネージャーに昇格、2015年3月に出産、約1年の育児休暇を得て、2016年4月から復職。2016年現在CSR部(2016年8月に環境社会貢献部から名称変更)マネージャー。



ユニー株式会社

住所/〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1  
TEL/0587-24-8093 FAX/0587-24-8034 <http://www.uny.co.jp>

## 「地球にやさしいお買い物」でエコライフスタイルを実現

ユニーは「エコ・ファースト企業」として、消費者に身近なスーパーの店舗から環境活動に取り組んでいます。その取り組みは大きく3つ。①持続可能な循環型社会構築を目指し、廃棄物の発生抑制と資源循環の推進②持続可能な社会構築のための環境教育の実施③消費者の行動変革による、持続可能な社会の構築です。

この中で私が主に担当しているのが、②の環境教育の企画・立案と③の環境配慮商品の「eco!on」の開発です。お店を舞台にした「お店探検隊」という環境教育では、地域の方々が使い終わった容器を持ってくるお店のリサイクルボックスの見学、バックヤード見学、普段使っている商品からエコな物を探す「環境ラベル探し」、リサイクル工作など私たちが企画・立案したことを、各店舗の店長を中心に実施しています。

また、プライベートの環境配慮商品「eco!on」などは、購入していただければじめて地球環境に貢献できます。ところがこれまでの環境配慮商品は地味で、販売に結びついていないものもありますので、そんな商品の改良に取り組んでいます。例えばこれまで、店頭で回収した牛乳パックをリサイクルしたトイレットペーパーがありました。このパッケージを牛乳パックに似たデザインにすることで、お客様が一目見てリサイクル商品ということが分かり、興味をもっていただけるようになりました。

実は私は大学では教育学部で教職免許を取得しましたが一般企業に入社しました。全く別の業界だと思っていましたが、現在の仕事は大学で学んだことが役に立っていることが多く、とても嬉しく感じています。

私は環境活動は難しいことでなく、普段のスーパーでの買い物からでも学び、行動できることを次世代の子どもたちに向けて伝えていきたいと考えています。



ユニープライベート商品  
「回収された牛乳パックを使ったトイレットペーパー」

## 仕事と育児の両立に向けて

2016年7月20日時点で従業員は、女性が2万1,000人(79%)、男性が5,500人(21%)ですが、管理職の割合は男性が96%で、女性は4%となっています。働く人は女性が多い、しかし、管理職は男性が占めているという現状です。

お買い物の主導権をにぎるのは女性が多いので、弊社も、もっと女性の管理職を増やし、商品の品揃えや店舗運営にも女性の視点を反映できないかと考えています。そこで今年の4月から3ヵ年計画で女性活躍推進行動計画を定め、2020年を目処に、女性管理職の割合を10%にする目標を策定しました。

ユニーでは仕事と育児や介護を両立するための制度は比較的充実していると思います。最近では育児休暇の延長や、男性の育児休暇取得の推進、出産や介護を理由に退職した場合に、正社員として復帰することも可能となりました。一方で、制度は充実してきましたが、まだ実際は使いにくい現状があります。忙しく追われる業務の中、私が時短を利用できるのは、周囲の方々のサポートのおかげだと、本当にありがたく思っています。

自分の後輩の中には、仕事のキャリアの面で考えると結婚・出産に尻込みをしている人がいます。私自身も復帰して4~5ヶ月なので、自分でもまだ仕事と家庭の折り合いがつかない状況ですが、結婚・出産・育児などの人生の大切な節目に退職しないで働き続けられる環境になり、実際に私が制度を利用しながら輝いて働いている姿を見てもらうことで、悩まなくても行動できる女性がが増えて欲しいと思います。



Q 女性管理職について、どう思いますか？

### 性別に関わらず、能力次第で活躍できることを実証

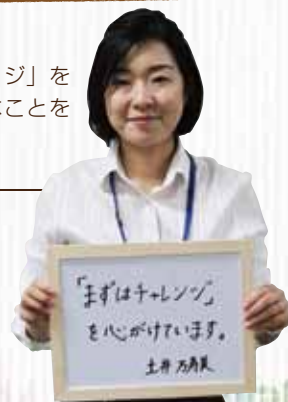
A 弊社で、女性の部長も女性の執行役員になったのも、現在の自分の上司が初めてでした。特に女性執行役員はまだ一人しかいません。大卒の入社は男性:女性が20:1で、管理職はほとんどいなかったそうです。

私はそんな上司を見て、性別に関係なく、能力によっては要の仕事に任せて活躍できる場が与えてもらえるということを実感しています。働く上で自分の目標となる人が身近にいて、その仕事ぶりを見ることは、本当に幸せなことだと感じています。

### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言

「まずは、チャレンジ」を心がけて、いろいろなことを行っています。

message



# 長野発！エコ女らしく生きる！

05  
guest



株式会社ECOMACO 代表  
岡学園トータルデザインアカデミー 代表  
**岡 正子** さん

1998年、長野冬季オリンピックプログラムにてポリ乳酸繊維の衣装を発表。ファッションにエコロジーを取り入れた先駆者として国内外から注目を集め、2003年ECOMACOをスタートさせる。  
2009年「ビジネス女性大賞」、2012年「Most Innovative Company of the Year」ビジネス界のオスカーといわれるスティービーアワードでグランプリの国際ビジネス大賞を日本人女性として2回受賞。  
現在、岡学園トータルデザインアカデミーの校長を務める。



## エコロジーのファッション「ECOMACO」は化学反応で生まれた！

1994年38歳の時に、街づくりに興味を持って清掃工場へ足を運びました。

ビル三階建て分の大きな集積場に、たくさんのごみが捨てられていた現状を目の当たりにし、私はごみをごみステーションに持って行くけれど、後はどうなっているか知らなかったという事に、とてもショックを受けました。ファストファッションも増えてきていたその頃、着て飽きたら捨てればいい、捨てるのはカッコイイとされている時代でした。

1着を何日も何週間もかけて作る教育の世界と、デザイナーになりたかった夢、それから全く違うところでごみの現場を見て、ごみとファッションが遠い物とは思いませんでした。

私の中できっかけが重なったことで、自分でも予期しなかった化学反応が起き、エコロジーのファッション「ECOMACO」を始める事を決意しました。



## ごみと一緒に心まで捨てていませんか？

資源を奪い合う戦争がもっと拡大すると言われていた1994年に長野の清掃工場で、環境とファッションの共生をテーマにしたファッションショーを行いました。

ここ100年で爆発的に人口が増えています。1950年は25億人だった世界人口も2011年には75億人を超え、2050年には93億人を超えると言われています。それは資源の取り合いに当然行きつきます。これまで、急増する人口を支えるために天候に左右される天然繊維だけではなく、安定的に供給でき、機能的で働く女性が便利に使用できる人工的に開発された物(化学繊維)で私たちの洋服を支えている現状がありました。

ただ化学繊維の原料である石油は減ると言われています。人口がどんどん増えると、私たちは何を身にまったらよいのでしょうか。





## サステナブル繊維を使った「ECOMACO」スタート

1996年に石油だけに頼ってきた化学繊維ではなく、とうもろこしからできているポリ乳酸繊維と出会いました。新しい繊維に挑戦し、土に還る(土に入れると天然繊維と同じように消えてなくなる)布を開発しました。そして1998年、環境をテーマとし21世紀に伝える20世紀最後の長野冬季オリンピックの文化プログラムの環境ファッションショーで、ポリ乳酸繊維のお洋服第1号を発表しました。

植物から糸を取り、布を織るところから準備し、職人さんの手を借り、素材開発をした結果、約5年がかりでサステナブルな生地を世に出す事ができました。

CO<sub>2</sub>排出も少なく、エコロジー・脱石油・植物由来の素材でつくる・肌に優しく安全。

素材につける色もできるだけ地元のものを活かし、芍薬・りんどう・菜の花、リンゴの枝などの捨てていたものから染料を作り、美しい色を作っています。

## ビジネス界のオスカーと言われるスティービーアワードを受賞

「ECOMACO」のオリジナル素材は化学繊維の部類に入っていますが、自然の植物である非可食のとうもろこしのでんぷんから作っています。2009年にはスティービーアワードビジネス女性大賞、2012年にはスティービーアワード国際ビジネス大賞Most Innovative Company of Yearで革新的な素材開発が評価され、大賞を受賞しました。この賞はビジネス界のオスカーと言われ、世界中から4,000社を超えるエントリーがあった中で受賞でき、とてもありがたい事でした。



## 徹底的に長野に向き合う 長野発！エコ女

来年度、岡学園トータルデザインアカデミーに長野プロデュース課を立ち上げます。

地方の財産＝自然・農業・食・お土産・観光などを良く知ったうえで、プロデュースし、活かすことのできる学生を育成します。地財にアイディアやデザイン、イベントを加え、トータルで揃えば地方発信ができるのではないかと考えています。



自分の根っこ＝ルーツであった長野を活動の拠点とする中で、ふと気が付いた時に自分はトレンドを求めるデザイナーではなく、環境をテーマにしてやれることがないかと思うデザイナーとなっていました。

自分の身をおく場所「長野」と徹底して向き合って、地方のなにかしらのエネルギーになれないか、そして自然と向き合い、捨ててしまう物の中に次の展開の種を見つける事ができると考えています。その地域で育まれたものを組み合わせたら、地方がとても面白く感じてきました。

自分が面白いと思うものを組み合わせたら、自然にいきつくのではないかと考えています。みんな小さなきっかけでエコ女になれると思います。



Q 女性らしさを活かしている事例はありますか？

### 食の安全や見た目、ヘルシーなどの分野

A 食べても良いクレヨンなど、子どもと接し、日々の生活の中でこんなものがあたら良いのに、など細かいところに気が付く人が多い。栄養学と色をミックスしてお料理を作っている方など、ヘルシーな事も女性が強いと思います。



### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言

エコ女が増えれば、社会が彩る。  
みんなで、つながりましょう。

message

株式会社ECOMACO

住所/〒380-0936 長野県長野市岡田町96-5  
TEL/026-224-5165 FAX/026-224-7744  
<http://www.ecomaco.com/>

# 座談会

## ワークライフバランスを保ちながら、 環境分野で輝き続ける

06  
guest



ブラザー工業株式会社  
製造センター 購買部 環境法情報グループ

日置 ひとみ さん

水谷 起視子 さん

川野 絢子 さん

CSR&コミュニケーション部 コミュニケーショングループ

大倉 亜子 さん

ブラザー工業株式会社

住所/〒467-8561 愛知県名古屋市長穂区苗代町15-1  
TEL /052-824-2511(代表) <http://www.brother.co.jp/>

### 環境に配慮したモノづくりと行動で、明るい未来を描く

ブラザーグループは、商品のライフサイクルの全プロセスに配慮した「環境配慮型製品」をお届けし、従業員一人ひとりが地球環境の保全に向けた取り組みをグローバルに展開しています。この取り組みを前進させるため、ブラザーグループの従業員一人ひとりは、「Brother Earth」のもと、「よりよい地球環境を、あなたとともに。」をグループの統一的なメッセージとして、さまざまな活動を加速させています。



よりよい地球環境を、あなたとともに。

### ワークライフバランスを保ちながら、さまざまな分野の環境業務に従事

ブラザーグループの環境活動を推進しているグループ本社のブラザー工業は、仕事と子育ての両立をサポートする事業主として2011年に厚生労働省の「くるみん」を取得しており、2014年には「ファミリー・フレンドリー部門 厚生労働大臣優良賞」を受賞し、社長自ら「女性の活躍推進」を宣言するほど、かねてよりフレックスタイム制度をはじめ、育児休職、短時間勤務、在宅勤務など、従業員のワークライフバランスを支える制度が充実しています。これらの制度を利用することで、環境法規制対応やグリーン調達、製品の環境ラベル取得、工場の環境管理など多岐に渡る環境分野で、女性達がワークライフバランスを保ちながら、活躍を続けています。同じ職場に多くの働くママがいることで、子どもの流行の病気や、学校生活のこと、働きながら仕事を続ける上での苦労話など、いろいろな情報を共有することができ、お互いの心の助けとなっているほか、子育てや介護、仕事とのバランスの取り方やメリハリを付けた働き方などもお互いの成長につながっています。また、障がい者雇用の促進により、障がいを持つ従業員もそれぞれの適性・能力に合った職種・職場で活躍しています。

### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言

地球環境への配慮も、家庭で考えれば、母親が中心になって子ども達に指導していると思います。そういった日々の母親目線の努力や心配りなどが、仕事にも反映されると思います。何事にも明るく前向きに、職場のみんなと協力してがんばってあげれば、誰もが元気に活躍できると思います！

大倉 亜子さん



message



日置 ひとみさん

環境のお仕事は、自社だけで成り立つものではありません。女性の特性をいかして、積極的に社内外の人たちとコミュニケーションをとって人脈のネットワークを作ることが大事だと思います。そうすることで、仕事もプライベートも充実したものになると思っています。





## question. 1

Q 従事している環境業務の中で育んできた事、または、刺激を受けている事や、勉強になる事は？



A 私の業務は、RoHS※・REACH※(SVHC)などの製品に含有される化学物質に関する規制への適合状況をお客様に回答すること、北欧を中心に広く使われている、顧客への製品環境情報の提供フォーマットを利用して適合状況をお知らせすることです。工場における環境対応業務が正しく行われるよう、担当者への指導などもしています。(大倉)

※欧州における法規制。RoHSは電気・電子機器に含まれる有害物質使用禁止指令、REACHは、化学物質の総合的な登録・評価・認可・制限に関する規則。

A ブラザーグループがグリーン調達をするための基本となるグリーン調達基準書の作成業務を担当しています。調達基準を明確にするとともに、ブラザーグループだけではなく、取引先様とともに環境負荷低減活動を推進していきたいという思いを込めて作成しています。今年からは、電機・電子4団体が共同で運営している4団体欧州化学品規制WGにも参加して、他社の環境担当者と欧州の化学品規制関連の情報交換も行っていきます。そのWGは女性メンバーが多く、子育てと仕事の両立方法などのお話も聞けて刺激になっています。(日置)

A 日本、カナダ、オセアニア向けの包装材データ集計や容器包装リサイクル法対応データの作成、取引先監査の合格証を作成し、各拠点へ送付する業務を担当しています。また、私は聴覚に障がいがあるため、同じ部署の皆さんに手話の理解を深めていただけるよう、部員全員が出席する会議で少し時間を借りて、普段のあいさつや感謝を伝える簡単な手話の紹介をスタートしました。

「お疲れ様です」、「おはよう」、「ありがとう」といった手話を皆さんが使ってくれるのでとても嬉しいです。(水谷)

A 水谷さんと同じ包装材に関する法対応業務のほか、化学物質データを管理するブラザー独自の「環境情報システム」の管理・運営も担当しています。取引先様や工場担当者の立場に立ってシステム改善案を提案いただける関係者の皆さまの姿勢に“*At your side.*”を体感しています。(川野)



## question. 2

Q 働く上で、乗り越えてきた苦労や、ブラザー工業の多様な働き方を支援する制度に価値を感じられた事は？

A やはり、子どもが急に病気になったときが一番大変です。仕事と育児を両立するために一番大変なのは、時間がない！ということです。現在「短時間勤務制度」や「在宅勤務制度」を活用しており、大切な時間を有効に使うことができるので、仕事も続けられています。(大倉)

A 出産するまでは、子どもがいて働く大変さを全く理解していませんでした。自分がその立場になってやっと実感しています。「短時間勤務制度」を利用させていただいていますが、「在宅勤務制度」ができて、一週間に一日ですが、始業時間から保育園のお迎えの時間ギリギリまで集中して仕事ができるようになりました。「在宅勤務制度」は、色々な働き方をサポートできるととてもいい制度だと思っています。(日置)

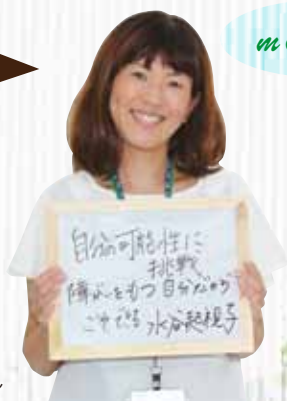
A 「短時間勤務制度」を利用しています。所属する部署には小さなお子さんがいるお母さんが多いので、短時間勤務に対しても理解があり、心強いです。子どもの急な病気などで休むことを考慮して、仕事を翌日に残さないように効率よく働くよう努めています。(水谷)

A 私も主人も母が専業主婦だったため、最初に苦労したのは、子育てをしながら仕事を続けることを主人に理解してもらう点でした。1歳から子どもを預けて働くことがイメージできず、2人で試行錯誤しながら仕事と家庭を両立してきました。当社の支援制度は、とても充実していて働きやすい環境であったものの、特に一昨年から始まった「在宅勤務制度」では、通勤する時間が短縮できただけでなく、時間に余裕ができたことで自分自身の気持ちにもゆとりができて、子どもたちを急かすことが減りました。(川野)



障がいを持っている方は、働く上でそれを不安に思うこともあるかもしれませんが、自分はどの部分で力を発揮すれば良いかを考えて「こうして欲しい」と自分から伝えていけば、周囲もサポートしてくれると思います。「障がいを持った自分だからこそ、できることがある」という気持ちを持って欲しいです。

水谷 起視子さん



message



川野 絢子さん

環境分野といっても内勤的な仕事から対外的な仕事まで、色々な業務があります。その中で自分のスキルや自分の状況に合わせた業務がきっと見つかると思います。周りに振り回されず自分らしく輝ける場所を見つけてください。

# 子育てをしながら働いている経験が、 管理職としての強みに

07  
guest

株式会社デンソー 安全衛生環境部 環境推進室 グローバル推進課長  
井上 真奈美 さん

1988年 デンソー入社 工機部  
1996年 安全衛生環境部 グローバル担当  
2008年 // CO<sub>2</sub>特別プロジェクト・緑化プロジェクト担当  
2016年より現職



株式会社デンソー

住所/〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1  
TEL/0566-61-5658 FAX/0566-25-4525 <http://www.denso.co.jp/>

## 人材育成のための環境教育とそのグローバル展開に取り組む

デンソーでは2016年度に「デンソーエコビジョン2025」を発表しました。エコビジョンの作成にあたっては、私は企画事務局として参加し、2倍や1/2など分かりやすくインパクトのある目標を定めました。今後これを浸透、実行させることが大きな課題であり、各国・地域のグローバル環境スタッフと多くの議論を重ね、日本はもちろん、各国地域の事情もふまえた施策を考える日々です。

また、このエコビジョンにおいては、核となる人材を育成するための環境教育のグローバル展開が重要課題です。知識、実践・指導力、企画力、監査力において一般的な能力を修得後、デンソーならではのやり方を身に付け、学術的な議論や将来の課題形成、さらにはグローバル監査などができる人材を育成するプログラムを現在具体的に立案しています。

男性管理職の多い当社において、子育てを経験した女性管理職として強みに感じているのは、人それぞれの個性を見ながらきめ細かく人材を育成していくことです。

世界のさまざまな拠点とやり取りをしていると、アジアをはじめ多くの地域で女性が環境活動をけん引していると感じます。管理職として人材育成を行うとともに、幅広く環境の専門知識を高めながら、海外拠点の実情を把握し、さまざまな課題と向き合い、他の国の女性に負けないように頑張っていきたいと思います。

## さまざまな施策をフレキシブルに利用できることが鍵に

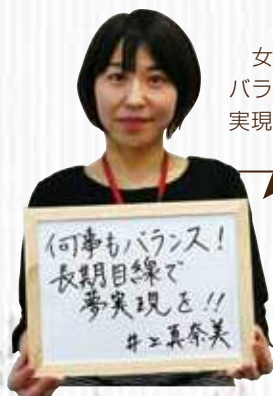
私は時短勤務制度を活用しました。この施策のおかげで、子どもと向き合う時間ができ、絆を深めながら、ここまで仕事を続けることができました。

当社では、これらの時短勤務の他、モバイルワーク導入や夫婦で参加できる復職準備セミナーなど女性活躍を促進するさまざまな施策が用意されています。また2014年に開催された女性活躍推進フォーラムでは、社長から直接思いや期待のメッセージが発信され、会社全体で女性活躍を後押しする姿勢を感じました。

子育てをしながら働く意欲のある女性にとって、さまざまな施策がフレキシブルに利用できるようなれば、女性もメリハリをつけて働くことができるのではないかと考えます。



### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言



女性が働く上で大切なのは、バランスです。長期目線で夢を実現していきましょう。

message



Q 携わってきた仕事で、印象深いものはどのような仕事ですか？

### CO<sub>2</sub> 特別プロジェクト室での5年間

A 京都議定書が締結された時期、当社内ではCO<sub>2</sub>特別プロジェクト室が発足し、5年間にわたって全体事務局を任されました。そこには生産技術、渉外関係など色々な部門のスタッフが集まりました。今まで聞いたことのない用語が飛び交い、理解に時間がかかることもありましたが、一緒に取り組むことで、自分の仕事の幅の広がりを感じることができました。

今でも、そこで得た人脈と知識は会社生活の宝となっており、色々な場面で役立っています。



# 女性の力でより消費者の方に共感を得ながら、 「いっしょにeco」

08  
guest

花王カスタマーマーケティング株式会社 中部支社マーケティング部  
MK推進チーム(環境担当)

二之湯 友子 さん

1992年入社。管理栄養士。花王ヘルスケアアドバイザーとして食品部に所属し花王食品の啓発を担当。  
2009年、環境活動開始とともに、環境担当として、地域・行政・ビジネスパートナーと「いっしょにeco」をテーマに環境配慮型製品の普及啓発に向け精力的に活動している。



花王カスタマーマーケティング株式会社

住所/〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-8-11  
TEL/052-204-5600 FAX/052-204-5300 <http://www.kao.co.jp/saiyo/cm/>

## 3つの「いっしょにeco」で社会のサステナビリティに貢献

私が所属する花王カスタマーマーケティング(株)は花王製品の販売会社です。

花王グループでは、2009年6月に環境宣言、お客さま・パートナー・社会の3つと“いっしょにeco”を発信し、地域・行政・ビジネスパートナー(流通)とともに行う環境活動を開始しました。「花王の製品は原材料の調達から、生産・物流・販売・使用・廃棄までのライフサイクル全体における環境負荷の削減」を考えたうえで開発されています。販売部門である花王カスタマーマーケティング(株)では、地域との連携を中心に、行政や、企業・ビジネスパートナーと連携して、お客さまが暮らしの中でお使いいただいている花王製品が「節水・節電」など環境対応しているものであり、自然と無理なくエコにつながっていることをお伝えしています。

## 製品の環境力に加え、女性の力でよりお客さまに共感を

当初は中部7県を私一人で担当していましたが、各県や市で環境活動の考えが少しずつ異なることがわかってきました。そこで、地域に詳しい各エリアの社員が担当したほうが、効果的かつ迅速に対応できることがわかり、現在はエリアごとにチームを作って環境活動を推進しています。

これは、より地域に密着することがエコに関心のある人を増やすことにつながるとわかったからです。

さらに、行政や企業主体の環境イベントに出展するときは、グループ会社(花王フィールドマーケティング(株))の女性メンバーに積極的に応援をお願いし、普段の暮らしのなかで花王製品を使った時のエコな点を自らの体験を通じて紹介していただくようにしています。そうすることが、お客さまの共感を得られ、環境＝“いっしょにeco”というキーワードを身近に感じていただけることもわかりました。



Q 女性の力を発揮しやすい職場でしょうか？

持続可能な未来に向けて働く女性に一言

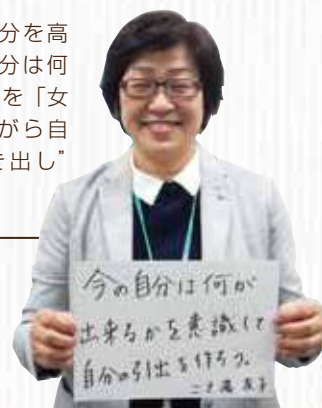
### “メリースタイム”が次世代の女性活躍に

A 花王製品は女性が毎日のようにお使いいただく日用品が多いことから、会社には女性の活躍しやすい風土があると思います。結婚や出産などのライフイベントは、キャリアアップの時期と重なりがちです。花王では次世代の女性が活躍しやすい制度が取り入れられるようになりました。

産前産後の休職制度はもちろんのこと、子どもが1歳を過ぎた後の4月末まで育児休暇を取ることができ、さらに“メリースタイム”と呼ばれる時間短縮勤務も、子どもが小学校1年生の4月末まで取得できます。そして、4月末まで使用できることで「小1の壁」を最小限にでき、働く女性社員にとっては大きなメリットとなっています。この制度を利用する女性社員は年々増えているので、キャリアアップを図りながら働き続けて管理職をめざしてくれればと期待しています。

限られた時間の中でも自分を高める事はできます。今の自分は何ができるか、何をすべきかを「女性視点」で考え、楽しみながら自分だけの“オリジナル引き出し”を作りましょう！

message



# 環境のめがねで世の中をみると

09  
guest



京都大学 地球環境学 准教授  
**浅利 美鈴 さん**

2004年 京都大学大学院工学研究科 工学博士  
2005年 京都大学環境保全センター 助手  
2007年 京都大学環境保全センター 助教  
2016年より現職

家庭系有害廃棄物などを対象に、適正な循環・廃棄を含む製品管理システムの構築を目指し、物質フローや消費者行動のモデル化を研究。近年は東北での災害ごみの適正処理などにも尽力。研究活動の傍ら、京都大学のエコキャンパス化や高島屋での「びっくり！エコ100選」の開催など、実践的なエコ活動にも取り組む。「(一社)びっくりエコ発電所」の理事や「3R・低炭素社会検定」の事務局長も務めている。



## 国内外のごみ事情～食品ロスやリサイクルについて～

学生時代に「京大ゴミ部」を立ち上げてから20年に渡り、ごみ問題に向き合ってきました。ごみ研究の原点は、恩師である高月紘先生が約35年前に始めたごみ(一般廃棄物)調査です。この調査は、戦後爆発的に増加したごみを減らす目的で始められ、毎年1回京都市と協働で約300世帯のごみ袋を回収し、含まれているごみを約300種類に分類します。

近年は紙おむつやペット用シートなど使い捨てのごみが増えていることや、食品の廃棄量が多い人は、食品の保管場所を分散して多く持つことなどがわかってきました。また、家庭ごみの約4割(重量ベース)を食品ごみが占めており、その半分が調理屑、残りが食べ残しで、さらに食べ残しの半分以上が手つかずの食品です。

日本の食品ロスは年間600万トン以上で、これは日本の第1次産業(農林漁業)の生産額(10兆円)以上と考えられます。FAO(国際連合食糧農業機関)によれば、世界の食品ロスを合わせると、世界の飢餓を救えるとも言われています。この問題については発信して変えていける部分が多くあるのではないのでしょうか。

海外ではJICA(独立行政法人国際協力機構)のプロジェクトでソロモン諸島のごみ問題を研究しています。人口規模が小さいため、リサイクルできる規模になりません。従ってごみの回収システムが整備されず、生活者が捨てたごみが蓄積し、マラリアなどの感染症の原因にもなっています。規模が小さい多くの島国でどのようにサイクルを成り立たせるかが課題です。

## 普及啓発から実践活動へ

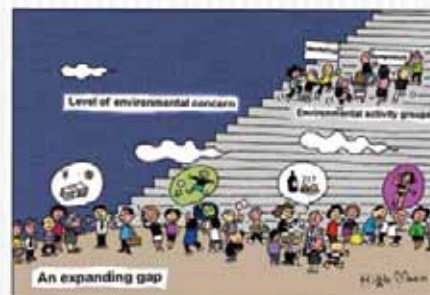
高月先生の環境マンガに「開いていくギャップ」というものがあります(右下図)。階段の上部にいる環境活動に熱心な人々と階段の下にいる関心のない人々。環境問題に直面したときにアプローチするなら下にいる人々であり、市民全体の意識を底上げしたいと考えています。

京都議定書の第一約束期間(2008～2012年)には京都タカシマヤ(途中から新宿タカシマヤでも)で「びっくり！エコ100選」を開催し、毎年100のおすすめのエコ商品や取り組みを紹介し、エコ図鑑にまとめました。それらの普及啓発のステージを終えて、実際に何かできないかと考え、2013年には市民協働発電「びっくりエコ発電所」の設立に携わりました。学校の屋根に太陽光発電パネルを設置し、市民から出資を募って発電しています。

大学の環境管理にも長年取り組んでいます。環境配慮促進法の施行に伴って環境報告書を作る必要に迫られ、データの収集から始め、今では教員も積極的に省エネなどに取り組むようになりました。

一方で、学生は幼い頃から環境の知識を持っているものの、環境で特別に何かをしたいと志す学生は減ってきているように感じます。学内のサークルを環境の視点でつなぐ「エコ～るど・京大」では、「ぬか漬けバトン※」などの楽しいイベントを行い、SNSで発信し、学生生活に少しでも環境の要素を取り入れてほしいと思っています。将来は、海外のように多くの大学が連携する「サステナブルキャンパス」に発展させたいですね。

※学生や教員、著名人にぬか床をバトンタッチして天地返しを行ってもらい、通常捨てられる米ぬかの再利用などについて考えるイベント。



Note: How to involve those who show no concern remains a difficult problem.

出典: ジャパン・フォー・サステナビリティ ウェブサイト  
作者名: 高月 紘





## question. 1

Q ごみ調査は大変そうですが、おもしろい点は？

### 普段の生活では見えないものが見えること

A 人のいる所にはごみが発生しますから、ごみメガネ的なものをかけて(ごみの切り口から)日常生活を見ると、普段の生活で見えなかったものが見えてきます。

私は海外に行っても、まずごみ箱をチェックしてしまいます。その国の文化や「人となり」が表れていることもあれば、国内外を問わず共通する法則もあり、そのような発見がとても興味深いです。



## question. 3

Q ごみ問題で今後取り組みたいことは？

### 日本の物の流れと空き家対策

A 東日本大震災の発生から2週間後に現地に入り、災害廃棄物処理計画の策定に携わってから、日本の物の流れに目を向けるようになりました。

日本は資源を多く輸入する一方で、国内で物量を小さくして価値を高めて輸出しています。輸入された資源はエネルギーとして使用されたり廃棄物として排出されたりするものもありますが、結果的に国内に物質は蓄積され、非常に多く蓄積純増\*があります。最近空き家対策が話題になっていますが、今後放っておいても出てくるものが都市に多く眠っています。それらをどのように活用するかを研究していきたいです。

\*土木構造物、建築物、耐久財など、すぐには棄てられず経済活動の中に蓄積するものについて、ある年に新たに蓄積したものから、同年に廃棄・解体されて廃棄物などとなったものを除いた物の量。

## question. 2

Q 企業としてできることは？

### 製品設計にリサイクルの視点を

A 拡大生産者責任\*は容器包装などの分野では進展を見せているものの、改善や他品目への展開の余地は多くあると思います。例えば適正処理困難物に指定されているスプレー缶。熊本地震被災地でも至るところで爆発事故が起きており、今後製造者の責任が問われてくる品目だと思えます。

多くの企業ができる限り安く廃棄物を処理したいと考えており、日本でも廃棄物の収集運搬や処理工程における労災の発生率は高いです。アジア全体でみればまだまだ安全に処理できる状況ではなく、逆にビジネスとして大きなマーケットがあるのかもしれない。

企業にはリサイクルの視点を製品設計に反映していただきたいと思っています。紙おむつなど成分的にはほとんどプラスチックのものについては、生分解性にするなど。最近話題のマイクロプラスチックをきっかけに、源流対策の意識が高まってほしいと思っています。

\*OECD が提唱した概念であり、「製品に対する生産者の物理的および(もしくは)経済的責任が製品ライフサイクルの使用後の段階にまで拡大される環境政策上の手法」と定義されている。

## question. 4

Q 女性の感性を活かせる点は？

### ごみの世界での女性の活躍はこれから

A ごみの世界は圧倒的に男性社会ですので、女性が頑張っていると、それだけで評価される部分もあるかもしれません。男性社会でもいったん打ち解けると色々教えてもらえますので、女性だからと肩ひじ張らずにコミュニケーションをとることが大切ではないでしょうか。ちなみにソロモン諸島の3年間の調査については、水も電気も不足するような現地に新卒の女性が住み込みで行っています。そのような過酷な調査に手を挙げて現地に出向くのは、ほぼ女性です。

### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言

message

私のキーワードは「えこめがね」です。  
ごみの研究をしていて、ごみからいろいろな物を見えています。  
そんなメガネをひとつ持ってもらえば世の中の見方が変わりますし、  
さまざまな人に語りかけることができるのではないのでしょうか。



# 私の夢であり、仕事（研究）の原点は、 「緑豊かな母なる地球」への貢献

10  
guest

中部電力株式会社 技術開発本部 エネルギー応用研究所  
バイオ技術グループ 陸域生物チーム 研究副主査 博士（農学）  
**津田 その子** さん

1993年3月に名古屋大学大学院 農学研究科 修士課程修了後、4月より専門研究員として中部電力(株)に入社。エネルギー応用研究所にて電力設備の建設・保守に伴う環境保全対策や生物トラブルの課題解決の研究業務に従事。2013年7月に研究企画グループへの異動で研究所と社内各部門との調整業務を担当。2015年7月より現職、2016年9月博士号取得。

中部電力株式会社 技術開発本部 エネルギー応用研究所

住所/〒459-8522 愛知県名古屋市長区大高町字北関山20-1  
TEL/052-621-6101 FAX/052-624-9234



## 電力設備と自然との共生の研究に取り組む

中部電力の電力供給エリアには、山間部など自然に囲まれた場所がたくさんあります。こうした場所にダムや変電所、鉄塔などさまざまな電力設備を建設させていただく際には、希少生物の保護や復元のための緑化など、周囲の自然環境に影響を与えない対応が必要です。また、建設後に発生する雑草に対しても、設備が非常に広範囲にわたるため、安価かつ環境への影響が少ない対策が必要となります。

こうした、電力設備に関わるさまざまな環境保全研究の一環として、最近では、日本在来の植物を用いて生物多様性に配慮した緑化工事を可能とする研究に取り組んでいます。会社の支援、グループ会社を始め恵まれた研究スタッフ、そして家族の理解と協力もあって、今年9月にはこれまでの研究成果をまとめ、博士号を取得することができました。

## 利益が優先する企業活動の中で環境保全を推進するには

一般的に、環境対策にはコストがかかると言われるますが、持続可能な社会を実現するために、コスト重視の企業活動の中でどのように折り合いをつけるかを提案することは、企業の中で研究する者の重要な役割だと思います。前述の研究で、日本在来の植物を利用した緑化工事が安価に実施できるようになれば、環境保全とコスト削減を両立することができます。こうした企業活動に即した現実的な環境保全技術を広めていくには、企業からのアクションが重要であると考えています。

工学系がほとんどの電力会社の中で、生物研究の専門的な内容をわかりやすく説明する難しさはありますが、地球環境に配慮し緑に囲まれた中に電力設備が共生しているような電力会社を目指しています。それが、地球を緑でいっぱいになりたい！という入社時からの私の原点であり、ライフワークです。



## やりたいことを実現するには「時間の使い方」がカギ

仕事をする上で男女の差は感じない職場だと思います。また、研究員は入社時からフレックスタイム勤務で、結婚・出産にあたっても時短を取ることなく働くことができたので、働きやすい環境だと思います。しかし、子どもの世話などで一度帰宅した後、再び職場に戻るような中抜け勤務体制や、1か月間のトータルでの勤務時間管理など、もっとフレキシブルな勤務体制があれば、さらに時間をうまく活用でき、仕事とプライベートを両立しやすいと思います。

### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言



思うようにならない時、「自分では考えもしなかった新しい道が開けたんだ」と思っはてはどうでしょうか？

バラエティに富み、波乱万丈の人生が送れて、その方が絶対に楽しいと思います。

お互いに頑張っていきましょう！

message



Q 携わった仕事の中で印象深いものはどのような仕事ですか？

### 送電鉄塔の外来植物調査

A 外来生物法の対応で、鉄塔周辺の植物調査のためにたくさんの鉄塔を歩いて回りました。山頂にある鉄塔の足元に立ち、周囲の山の稜線に鉄塔が並んでいる雄大な景色を見た時、研究所と現場の仕事、自分と電力の仕事が繋がっているんだ、と強く実感したことが印象に残っています。



# 一步を踏み出す勇気とコミュニケーションを大切に

11  
guest

## フルハシ EPO 株式会社 開発本部 研究開発室 伊藤 芽衣子 さん

フルハシ EPO の開発本部が手掛ける「グリーンジャパンプロジェクト(森林や木質バイオマスの有効活用)」「ブルーオーシャンプロジェクト(海洋バイオマスの開発や活用)」「オレンジサンプロジェクト(安心・安全・健康な食糧生産方法の開発)」のうち、ブルーオーシャンプロジェクトにおいて海藻の陸上養殖などを研究。大学や公的研究機関との連携による実証実験などに従事。

### フルハシ EPO 株式会社

住所/〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山1-14-18 A-PLACE金山6階  
TEL/052-324-9088 FAX/052-324-9188 <http://www.fuluhashi.co.jp/>



## 希少な海藻の通年供給をめざして

海洋バイオマスの開発や活用を目的とするブルーオーシャンプロジェクトにおいて、私は海藻(スジアオノリ)の陸上での養殖について研究・実証実験を行っています。

天然のスジアオノリは年に1回、限られた時期にしか採藻されず、昨今の気候変動により流通量が激減しています。海藻の養殖は通常海面で行われますが、自然環境の中で生育に適した季節(主に冬期)での収穫に限定されること、安定した品質を得るのに制御が難しいのが問題です。

そこで当社では、高知大学、三重大学、三重県尾鷲市と協働して新たな養殖事業を開発しています。具体的には、孢子集塊化法\*を活用した、陸上の水槽内でのスジアオノリ栽培です(写真)。ここでは、スジアオノリの生育に適切な水温とミネラルを有する「みえ尾鷲海洋深層水」を使用しています。

この養殖法のメリットは、安定した水温の中で、豊富なミネラルを得て短期間で色や香りのよいスジアオノリを1年中安定的に養殖できることです。三重県尾鷲市での事業化を目指して、さらなる品質の向上と省資源・低コストでの安定生産に取り組んでいます。

\*複数個の孢子を高密度に着床させて孢子集塊を作り、浮遊させながら養殖する方法。



スジアオノリの養殖実証実験

## 積極的なコミュニケーションで一步を踏み出す



実証事業のための装置には、現場での改善と創意工夫が盛込まれています。想定外のトラブルが発生しても、チームワークで冷静に対処するよう心がけています。また、スジアオノリの色や香りをどう評価するかといった課題に対して、大学や行政にご意見を伺いながら試行錯誤を重ねています。皆さんが大変親切に教えてくださいるので、いつも感謝しています。

比較的男性の多い分野ですが、仕事をするにあたって女性であることは特に意識していません。いつも意識しているのは積極性やコミュニケーション能力の向上です。大学や企業と連携して進めることが多く、ときには大学教授が集まる研究会に出席することもあります。こういった場ではつい萎縮してしまいがちですが、一步踏み出せばビジネスチャンスにつながることもありますので、積極的に参加しています。



Q 仕事でモットーとしていることはありますか？

### 提案力の向上と、それを最後までやり遂げること

A 「提案力向上」を念頭において仕事をしています。私の所属する開発本部は若手でも活躍のチャンスがたくさんあります。自身の頑張り次第で成長できる場所だと思っているので、提案力は重要な要素だと感じています。提案したことが採用されると嬉しいですし、もちろん提案したことを最後までやり遂げることも大切です。

### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言

まずはやってみましょう。  
自ら動き、さまざまな方と一緒に  
ご指導いただくことで、  
困難に思えることも道が開けて  
くると思います。

message



# 仕事に誠実に向き合うことで、キラリと輝く人になる

12  
guest

## 名古屋市環境局 環境企画部(環境教育担当)主幹 小木原 史香 さん

名古屋市下水道局、天白区役所区民生活部まちづくり推進室を経て環境局に配属。環境局地球温暖化対策室、地域環境対策部大気環境対策課、ごみ減量部減量推進室を経て、現在は環境企画部の主幹として名古屋市の環境教育を担当。エコパルなごや、なごやエコキッズ・エコスクール、藤前干潟ふれあい事業、なごや環境大学などに従事。



### 名古屋市環境局 環境企画部(環境学習センター)

住所/〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階  
TEL/052-223-1066 FAX/052-223-4199  
<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/>

## 環境分野の仕事の魅力は「50年、100年後の未来をつくる」こと

名古屋市は4つの都市像「健康安全都市(大気・水・土の保全)」「循環型都市(廃棄物対策)」「自然共生都市(生物多様性の保全)」「低炭素都市(地球温暖化対策)」を掲げており、新しい分野に異動するたびに、その分野の歴史や背景、課題やそれに対する施策を勉強することがとても楽しいです。

名古屋市は2つの公害裁判を経てごみ非常事態宣言を経験してきました。そして今、藤前干潟での環境学習を始め、環境サポーターは約150人、提供するプログラムも約100になっています。またなごや環境大学も講座数は年間160ほど、約2万人の方に参加いただいています。これら全ては市民の方のパワーで成り立っています。すごいことだと思います。

私は現在、環境企画部で環境教育を担当し、持続可能な社会のための人づくり、人の輪づくりを目指しています。環境教育は息の長い仕事ですが、環境学習センター(エコパルなごや)が20周年、なごや環境大学が10周年、藤前干潟ラムサール条約のジロング市との湿地提携が10周年を迎える今、その成果が問われてくる時期だと思います。

環境分野の仕事の最大の魅力は、50年先、100年先の持続可能な社会とは何かといった未来を描けることではないでしょうか。そして未来に向けて、さまざまな問題を抱えつつも、今やるべきことを着実に進めていきたいと思っています。

## 女性が働きにくい時代を駆け抜けて、今思うこと

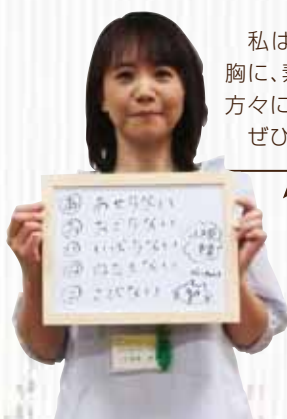
男女が平等に働くことができるという期待のもと市役所に勤務したものの、当時はなかなかの男社会で驚きの連続でした。しかし自分の思ったことは主張し、悩む前に行動し続けてきた気がします。結構、辛い事もたくさんありましたが、何より理解ある上司に恵まれたことで今の私があります。そういった上司や同僚は、私の中では密かに「戦友」として尊敬しています。

今では環境局の女性も増え、課によっては半数以上が女性のところもあります。子育てをしながら働くことに不安を感じるかもしれませんが、大変なときは周りが助けるのであきらめずにチャレンジしてほしいですね。上司の方は、そんな女性にぜひ「自信を持って」と声をかけていただきたいです。

現在私は課長職として、部下が個性や能力を存分に発揮し、巣立っていけるように導き、サポートすることを心がけています。



### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言



私は「あおいねこ(ブルーキャット)」を胸に、素敵なお仕事、戦友とも言える尊敬する方々に出会えました。  
ぜひ皆さんも、一緒にがんばりましょう。

message



Q 仕事するうえでのモットーはありますか？

### 「あおいねこ(ブルーキャット)」

A 大変な時期もありましたが、ここまで仕事を続けてこられたのは、仕事でなければ得られない感動があったからだと思います。男女問わず、仕事に誠実に向き合っこそキラリと光る瞬間があるのだと思います。私は自分を戒めるためにも五箇条「あおいねこ(ブルーキャット)」を作り、時折唱えながら仕事に取り組んでいます。

- 1.「あせらない」
- 2.「おこらない」
- 3.「いばらない」
- 4.「ねたまない」
- 5.「こびない」



# 大切にしているのは、お互いを理解するためのコミュニケーション

13  
guest

## 株式会社ウェストボックス 環境ソリューション事業部 小川 晶子 さん

2009年3月都留文科大学 文学部比較文化学科 国際環境政策卒業。  
2010年より株式会社ウェストボックス 環境ソリューション事業部にて企業における環境対策全般についての業務を行う。  
主に、LCA手法を用いたCO<sub>2</sub>排出量調査、J-クレジットなどを利用したカーボン・オフセット業務などに従事している。



### 株式会社ウェストボックス

住所 / 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパークデザインセンタービル 7階  
TEL / 052-265-5902 FAX / 052-265-5903 <http://www.wastebox.net>



端材を使用したマウスパッドと再生紙の植木鉢  
ウェストボックスが提案。

## 環境と経済の両立を通して、循環型社会の構築に貢献していく

「ごみ箱」という意味の名前を持つ会社「株式会社ウェストボックス」。

「環境と経済の両立を通して、循環型社会の構築に貢献していく」を理念として活動しています。

主な事業内容は、LCA(ライフサイクルアセスメント)を用いた環境配慮商品のCO<sub>2</sub>排出量調査や、国内の排出権を活用した地産地消型のカーボン・オフセットの提案・提供、再生資源素材を活用した環境配慮製品の企画・販売などを行っています。特にここ10年は、事業活動や商品を作る際のライフサイクル全体で、CO<sub>2</sub>をどのくらい排出しているか、従来商品とどのくらい排出量が違うかを「見える化」するCO<sub>2</sub>排出量の算出業務を中心に事業を展開しています。CO<sub>2</sub>排出量を知ることは、環境負荷把握の第一歩と考えています。

ウェストボックスは、カーボン・オフセットがどんな業種にも適用可能なことから、食品業界から工業界に至るまでさまざまな業種の企業とネットワークを培うことができ、それが強みとして活かされています。実際に中小企業では補助金を活用してPRされるケースが多いのですが、補助金を利用すると取り組みやすい反面、次年度以降の予算確保が課題でもあります。しかし、相手企業に評価され信頼関係を築くことで、継続的な取り組みにつながっています。

## 環境に対する考え方の課題と女性の活躍について

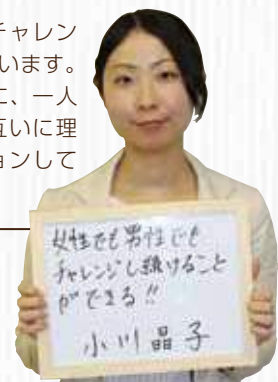
私は、CO<sub>2</sub>排出量の調査やカーボン・オフセットの申請、企画などに携わっており、幅広い業種の方々と知り合うことが出来ます。環境に対するコストの考え方は、プロモーションとして行う場合やCSRとして行う場合のように、事業者によってかなり差があると感じていますので、相手の方向性を理解した上で提案することを課題として心がけています。

またウェストボックスでは書類を作ることが多いため、きめ細やかな対応を得意とする女性が多く活躍しています。環境教育なども発想が柔軟な女性に向いている分野と感じています。ここでは、従業員が自分でコントロールしながら仕事を進めることができ、任せられることで、頑張りにつながっています。ちょうど産休を取っているメンバーがいますが、復帰するまでのスケジュールなどを策定する中で、メンバー全員で仕事を割り振り、人数が少ない中でもスムーズに復帰してもらえるよう調整できています。



### 持続可能な未来に向けて働く女性に一言

これからは、女性でも男性でもチャレンジし続けることができる時代だと思います。多様な働き方を認められるように、一人ひとりが成果を出して、周囲とお互いに理解しあえるようにコミュニケーションしていく事が大事だと思います。



message



Q 携わってきた仕事で、印象深いものはどのような仕事ですか？

### 新しいつながり = 循環を実感できる仕事

A 特に印象深いのは、事業者がCO<sub>2</sub>削減に取り組んだ事が価値になり、さらにカーボン・オフセットに使ってもらった事で、新しいつながりができる事を実感したことです。

例えば、バラ農家の温室栽培で重油を使ったボイラーからヒートポンプ電気式に変更して削減されたCO<sub>2</sub>排出量のクレジット(創出された環境価値を権利化したもの)を、カーボン・オフセットとして印刷会社に利用してもらった際、現場視察などを通して、両者の「つながり = 循環」を体感した時です。このような時は、本当に嬉しく感じます。

# 課題の本質は「女性活用」ではない 自分らしい働き方の選択という「革命」が必要

14  
guest



## 岡崎ビジネスサポートセンター OKa-Biz 副センター長 高嶋 舞 さん

1981年愛知県岡崎市生まれ/2004年名古屋大学法学部法律政治学科卒業、「にっぽんど真ん中祭り」組織委員会事務局に就職/2005年特定非営利活動法人G-net(岐阜県岐阜市)に就職/2009年地域の中小企業や起業の応援を中心としたコンサルタント事業「まちおこし高嶋屋」創設/2011年東海地域で社会的な事業を行う若手起業家を支援する「東海若手起業塾」事務局長に就任、岐阜県「ぎふ女性経営者懇談会」委員に就任/2013年度中小企業庁事業「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業推進会議」地域準備会合委員に就任、岐阜県生涯学習審議会委員に就任、産業支援拠点「岡崎ビジネスサポートセンター」ビジネスコーディネーターに就任/2014年「岡崎ビジネスサポートセンター」副センター長に就任、また個人事業を法人化し、株式会社「やるまい」取締役副社長に就任/2015年「岡崎ビジネスサポートセンター」が内閣府より女性のチャレンジ支援賞を受賞

## 株式会社ナチュラル・コーチ 代表取締役 若林 かおり さん

ライフキャリアコーチ/国際コーチ連盟アソシエイト認定コーチ/一般財団法人生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ/子育てママネットワーク「ママユメ」代表



## この地域における中小企業の現状と「岡崎ビジネスサポートセンター」の支援活動

日本の中小企業が占める割合は99.7%です。2011年度に中小企業庁が実施した「中小企業の経営者の事業判断に関する実態調査」によると、定期的な経営相談をする相手がいない経営者は64.3%。中小企業の経営者は、営業力を強化したい、新商品やサービスを開発したい、といった売上げアップに向けた課題を抱えているものの、相談相手がいないという状況です。

この課題解決に向け、「岡崎ビジネスサポートセンター」は、2013年に岡崎市と岡崎商工会議所の共同運営で立ち上がりました。このセンターは、ちいさな企業の応援団をコンセプトに活動しており、ビジネスコーディネーターが企業の相談を無料で受け付けているほか、チャレンジセミナーや実践セミナーを開催して、企業の経営を支援しています。

立上げから2年間の相談件数は、当初目標の3倍近い、3,356件となり、“行例ができる相談所”として数々のメディアに取り上げられるようになりました。注目されているもう一つの理由は、他地域のビジネス相談所に比べ、ビジネスコーディネーターに女性が多く(7名中3名が女性)、女性の相談者(全件数の3割)が多い点です。女性の豊かな感性と強みを引出し、ターゲットを絞った営業戦略をアドバイスすることで、新たな投資をすることなく売上げがアップするといった、多くの成功事例を生み出しています。

## 課題の本質は日本人の「働き方革命」

労働人口が減少する中で、女性の活躍は深刻な課題です。実際に、相談業務を行っている、人材不足に直面している中小企業は少なくありません。

逆に、この地域にも、中小企業で女性が活躍している現場があります。パートタイムで働く女性たちが、現場を回している。お話をよく聞くと、人手に困り、このままでは事業が成り立たないという、鬼気迫るものがあつたからこそ、現場の体制を変え、改善をして、女性たちを活かせる現場へと変えることができています。

「女性の活躍推進」と言うと本質がよくわからなくなるのですが、24時間戦士の働き方は、男性の中にも苦しさを感じている人がいます。本質は、日本人の「働き方革命」が必要なのだと思います。



## 多様な働き方の実現に向けて

今は、多様な働き方を求める時代です。日本の社会は、週5～6日、全時間を使って仕事に打ち込まないと、正社員ではいられず、頑張っている人認定、成果を出せる認定、戦力認定をされないことが多い。一方で、成果や評価の指標は、本当は働く時間ではなくて効率化、ということも、よくわかっている社会なのです。

人は生きていれば、いろんな時期がやってきます。子育てや介護が必要で、これまでの社会に合わせられずに支障をきたしている人たちの喫緊の課題が、「女性の活躍推進」という形でもって、明確に浮き彫りになってきているのではないのでしょうか。ただし、子育てや介護は、女性に限ったことではないのです。男性にも子育てや介護を必要とする人がいます。多様な人が多様な働き方をすることを視野に入れた企業側の体制づくりが望まれます。そうすることで、これまでの社会の仕組みに合わせていたライフスタイルから、自分の大事なものにベクトル合わせて、自分らしいライフスタイルへ、働き方を選べない社会から、選べる社会へとシフトさせていくことが可能となるのです。





question. 1

Q なぜこの地域は女性の活躍が遅れているのでしょうか？

大手企業は人材に困っていない！

A 東海地方の大手企業は、人材不足に直面しておらず、あえて、女性に焦点を当てた採用・登用をしていないのが実態です。結果として、愛知県では、男性の流入数が多くなり、男女のバランスは、全国で最下位※となっています。一方、中小企業では、ここ数年、人材不足により事業を継続できないといった相談が増えており、積極的に女性人材を活用する動きが出てきています。

※2007年みずほ総研論集より。

question. 3

Q 女性の活躍している姿とは？

女性の活躍の前提は戦力になっているかどうか

A 女性が戦力になっている姿。

フルタイム、時短、パートタイムなど、色々な働き方がありますが、労働時間や仕事量、仕事の内容とそこに求められる成果など、女性側と会社側が、お互いの要求を本音ベースで話し合い、合意された適正な労働条件の中で、女性側が会社側の要求に見合った成果を生み出している姿ではないでしょうか。



question. 2

Q どのような「ロールモデル」が必要でしょうか？

ピカピカだけでない…身近な女性もロールモデル

A 「ロールモデル」と言われると、バリキャリの「ピカピカ女子」をイメージしがちですが、「あの人のようになりたい」と思える人物、自分にとって、具体的な行動や考え方の模範となり、勇気づけられるような人物をロールモデルと捉えるのがよいと思います。働き方は多様化しています。さまざまなパターンのモデルがあれば、その中から、自分のライフステージに応じた働き方を選択できるようになるのではないのでしょうか。

question. 4

Q 企業は女性の活躍に向けてなにをすべきか？

3つの意識改革が必要

A 育児との両立支援制度など、ハード面の対策は整ってきましたので、今後はソフト面の対策が必要です。

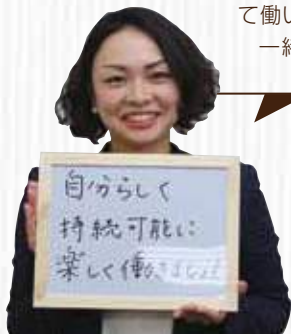
その中で、企業側に求められるのは3つの「意識改革」です。最初に、女性が活躍する社会に対する「理解」です。2つ目は多様な価値観と働き方を「尊重」すること、3つ目は女性との「信頼」関係を築く事と考えています。この3つがあることで、女性自身が働きやすい環境になると同時に、主体性を持って会社や社会に貢献する人材が育っていくのではないかと思います。

持続可能な未来に向けて働く女性に一言

女性も自分らしく、そして生き生きと自分のペースで、持続可能に、楽しく働けるような社会になって欲しいと思います。

女性が遠慮することなく、即戦力として頑張っていくという想いを持ちながら、しかし自分のスタイルはスタイルとして、確固たる意思を持って働いていけば、楽しく明るく毎日が過ごせると思います。一緒にがんばっていきましょう！

message



これまで、いろいろな方が女性を働きやすくするために制度を創ってきています。これまでの方がバトンを渡してきたように、今、私たちがこれからの未来を創っていくのです。私たちが働きやすい未来を創るために、感じたことや希望を遠慮せずに発信していきましょう。その声によりよい未来を創ることにつながります。



岡崎ビジネスサポートセンター OKa-Biz

住所/〒444-0059 愛知県岡崎市康生通西4-71 (図書館交流プラザ りぶら)  
TEL/0564-26-2231 FAX/0564-26-2232  
E-mail/mai@takashima.asia Blog/takashima.blog.jp/

株式会社ナチュラル・コーチ

住所/〒444-0823 愛知県岡崎市上地2-29-22 TEL・FAX/090-1563-7271  
E-mail/kaori-w@jc5.so-net.ne.jp http://jyosei-katsuyaku.com/

## 取材を通じて得られたこと・読者へのメッセージ

国の政策に女性活躍促進が組み込まれ、さまざまなライフスタイルにおいて、働きやすい環境が整備されてきました。

今回取材にあたり、各種制度の拡充とともに、女性自身もキャリア形成に前向きになり、仕事に対する意欲と自信が向上していることを実感しました。そのようにイキイキと活躍する女性が増え、周りの女性達に共感と勇気が広がることで、さらなる女性活躍社会が実現すると感じました。

### 《持続可能な未来に向けて働く女性に向けて一言》

私にも小さな子どもが2人いて、仕事との両立には大変な苦勞がありますが、一方で子どもが私のエネルギー源です。

未来の子どもたちのためにも、前を向いて、焦らずに、一步一步進みましょう。少しの勇気と小さな一歩の積み重ねでも10年後、20年後には大きな実りになっていると信じています。



松浦 陽子

「女性の活躍ってどういうこと？」と改めて考え悩みながらも、楽しく活動させていただきました。環境分野でも異なる業種・組織で働く女性メンバーの視点は多様で、発想はとても豊か！毎回、刺激され、多くの学びがありました。女性ワーキンググループならではの素晴らしい場でした。「女性の活躍」にこれが正解というものはなく、その人に合った働き方・生き方が実現できること、それによって周りに相乗効果もたらされることではないかと思います。

### 《持続可能な未来に向けて働く女性に向けて一言》

地球システムの中で持続可能な社会をつくっていくためには、女性ならではの視点やしなやかな考え方が欠かせないと思います。働き方、生き方がさまざまであるように、活躍の形も多様です。ライフステージやライフスタイルに合わせて、自分らしい働き方・生き方を、女性に、男性に、社会に提案していきましょう。



杉山 範子

一口に環境分野の仕事といっても本当にさまざまな仕事があり、その中でたくさんの女性が活躍されている事がよく分かりました。

取材したどの方もとても素敵な方ばかりで、イキイキと活躍されている姿がとても印象的でした。

改めて、自分も頑張らねばと心を入れ替えることができました！

### 《持続可能な未来に向けて働く女性に向けて一言》

みなさん！女性が輝くシーズン到来です！！

今できる事を、自分らしく始める事ができれば、みんなエゴ女です。

小さなことでも、みんなの力を合わせる事で大きなものになると思います！

さまざまな生命を愛しみ育てられる美しい地球を未来へ残すために、一緒にがんばりましょう！



加藤 美奈

仕事内容のみならず、十人十色の人生経験を教えていただけたことは私にとって大切な財産となりました。環境において、一人ひとりが気を配りコツコツ実践することで大きなパワーとなるということも学びました。皆さんから刺激をいただいたので、これから自分の糧にしていきます。

### 《持続可能な未来に向けて働く女性に向けて一言》

大切なのは「形で見えないもの」であると思います。想い、コトバは必ず響きます。周りの人だけでなくきっと自分自身を助けてくれるものです。オリジナリティーを持って突き進み、誰もが個性を活かして輝けるカラフルな世界を作っていきましょう！



江藤 麻衣

昨年7月から初めて環境の仕事に就き、WGに加わった私は、活動を通じてメンバーをはじめ取材した方々から、沢山の刺激とパワーを頂きました。

みなさんに共通していることは、消費者としての身近な視点や女性らしい感性を活かし、やりがいのある仕事に誇りと使命感を持って活躍されている姿。環境分野は奥が深いですが、私も一歩でも近づきたいです。

### 《持続可能な未来に向けて働く女性に向けて一言》

何事も全てが経験、無駄なことなど一つもありません。たとえ困難な事があっても、頑張っただけで良かった！と思える時が必ずくるはず。しなやかに逞しく、笑顔で人生を楽しまなきゃ“モッタイナイ”と思いませんか？

女性の笑顔が輝く未来は、地球も明るい未来になっていると思います！



宮木 歩美



出産や子育ての時期は、制度や働き方も大事です。けれど、企業や行政の環境分野で輝きながら働いている女性の共通点は「ポジティブでエネルギーが豊富」という事。現状の課題の解決策を見出し、いかに仕事や子育て、自身の生き方を楽しむか…、私も取材に行くたびに、みなさんから元気をもらった気がします。

また、この活動を通して、異業種の方との交流や環境分野のネットワークができました。活動に参加できた事に感謝しています。ありがとうございました。

#### 《持続可能な未来に向けて働く女性に向けて一言》

環境分野にもさまざまな業種や内容があります。そして、身近な生活の中にもできることが数多くあります。自分にできることを継続してやり続けましょう。それが未来をつくる「種」だと思います。その一人ひとりの「種」が実り、豊かな地球を育てていくと信じています。



平石 晶代

ブラザーグループでは、多くの女性達が環境分野で活躍しています。全員の方をご紹介できなかった事が心残りですが、社内外でイキイキと活躍されている方々からお話を伺うにつれ、いつか「社会の中で男女がお互いを尊重し合って輝ける世界」「自然と人間が共存できる持続可能な世界」が実現するという明るいイメージを描けるようになりました。

#### 《持続可能な未来に向けて働く女性に向けて一言》

これまでに体験した数々のハプニング。振り返ってみれば、苦難こそ、多くを学ぶきっかけとなっている事に気づきました。私たちは、私たちが知覚し得ないほど深く、そして多くのサポートを受け、母なる地球の上で育てられています。

かけがえの無い地球を愛しみ、個々の輝きを放っていきましょう！



小林 幸江

## 環境分野における女性活躍推進WGメンバー

### リーダー

トヨタ自動車株式会社 環境部 企画室 マネジメントグループ 主幹

松浦 陽子

### サブリーダー

名古屋大学 大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 特任准教授

杉山 範子

### メンバー

岡谷鋼機株式会社 人事総務本部 人材開発室 スタッフリーダー

田中 千賀

株式会社Comodo LABO 代表取締役

加藤 美奈

大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部 東京第11営業本部 営業第1部第1課

中田 理恵

// 情報イノベーション事業部 中部営業本部 営業第4部1課

江藤 麻衣

中部電力株式会社 環境・立地部 環境経営グループ 副長

宮木 歩美

// 環境・立地部 環境経営グループ 主任

水谷 容子

東邦ガス株式会社 環境部 環境推進グループ

小澤 絢子

株式会社ナックプランニング

平石 晶代

ブラザー工業株式会社 CSR&コミュニケーション部 コミュニケーショングループ スーパーバイザー

小林 幸江

株式会社フルハシ環境総合研究所 研究員

城山 裕美

### オブザーバー

ユニー株式会社 執行役員 CSR部長

百瀬 則子

※活動期間中に転勤や出産などで、メンバーが交代した企業もあります。

## 活動の経緯

日時	活動内容
① H27.7.16	●WGのメンバー紹介、活動内容
② H27.9.16	●WGの活動内容の検討、アンケート結果報告
H27.11.4~7	●メッセナゴヤ2015視察会 ※チーム毎に視察
③ H27.12.2	●WGの活動計画の策定(各テーマ)
H27.12.10	●エコプロダクツ展2015 視察会
④ H28.1.25	●勉強会「企業における女性活躍の現状と課題」 講師 まちおこし高嶋屋代表/地域資源活用プロデューサー 高嶋 舞 氏
	●WGメンバー企業・業務紹介 (岡谷鋼機)
⑤ H28.2.16	●WGメンバー企業・業務紹介(ナックプランニング) ●WGの活動計画・内容検討 ●COP21現地報告(杉山サブリーダー) ※環境企画専門部会との合同開催
⑥ H28.3.9	●WGメンバー企業・業務紹介(フルハシ環境総合研究所) ●環境講演会(名商ecoクラブ主催) 「トヨタ環境チャレンジ2050」~ゼロの世界にとどまらない"プラスの世界"を目指して~ 講師 トヨタ自動車株式会社 環境部 企画室長 山戸 昌子 氏
	●山戸氏とWGメンバーとの意見交換会
⑦ H28.4.19	●事務局メンバー変更の紹介および環境行動計画(2016-2018)について(情報提供) ●冊子、勉強会、シンポジウムの検討
⑧ H28.5.18	●WGメンバー企業・業務紹介 (中部電力・東邦ガス) ●冊子、勉強会、シンポジウムの検討
H28.5.26	●JT生命誌研究館 視察会 中村館長との懇談と館内見学
⑨ H28.6.16	●勉強会「長野発! エコ女らしく生きる!」 講師 (株)ECOMACO代表/岡学園トータルデザインアカデミー 代表 岡 正子 氏
⑩ H28.7.14	●勉強会「環境のめがねで身近なごみ問題を見てみよう!」 講師 京都大学 地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴 氏
⑪ H28.8.25	●WGの活動計画・内容検討
H28.9.23	●中部電力浜岡原子力発電所 視察会
⑫ H28.10.4	●WGの活動計画・内容検討
⑬ H28.11.2	●勉強会「ライフサイクルアセスメントについて」 講師 大日本印刷株式会社 包装事業部 技術開発本部 柴田 あゆみ 氏
	●WGメンバー企業・業務紹介(トヨタ自動車)
	●WGの活動計画・内容検討
⑭ H28.12月中(予)	●WGの活動計画・内容検討
⑮ H29.1月中(予)	●WGの活動計画・内容検討
H29.2.2(予)	●持続可能な未来に向けて、イキイキと活躍する女性 環境×女性×仕事シンポジウム開催

冊子制作の取材・動画撮影





JT 生命誌研究館 視察会



中部電力浜岡原子力発電所 視察会



*working group member*





名古屋商工会議所

〒460-8422

愛知県名古屋市中区栄2-10-19

TEL/052-223-5612



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

平成28年12月発行